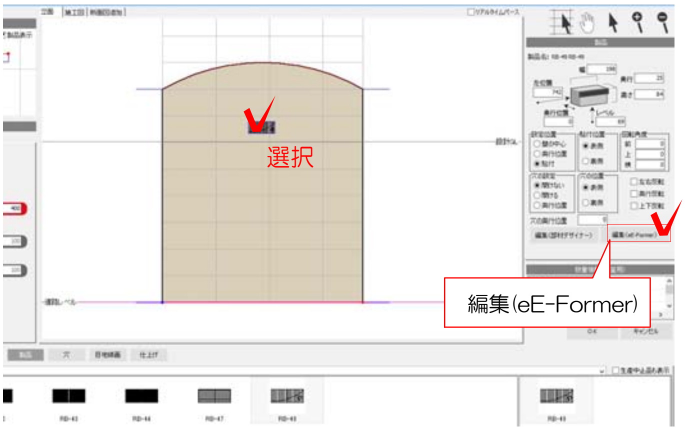
表札に文字を入れる方法（曲面への浮き彫り文字）

曲面の表札に文字を浮き彫りする方法です。

表面が曲面の表札に３D文字作成して切り欠くことで、曲面にも浮き彫り文字や彫り込み文字表現が可能です。

ここでは塀デザイナーの中で表札に３D文字を作成する方法を説明します。

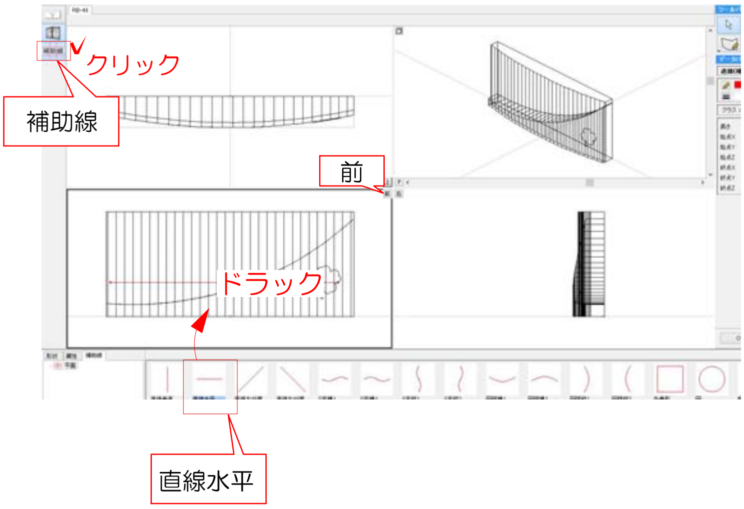


１：ユニットレイヤで表札を付けたい門柱を作成します。

今回は
メーカー：美濃クラフト
種別：表札
シリーズ：RB
RB-49　を使用しています。

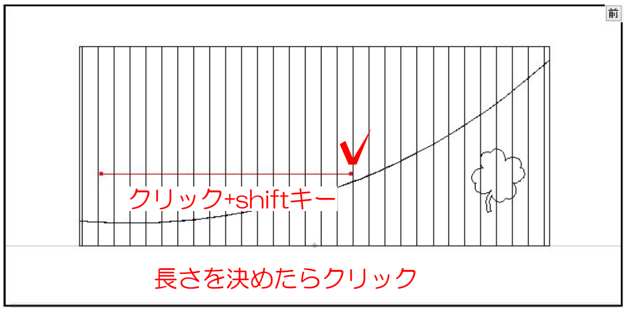
参考　製品の検索は
［塀に製品を配置する方法 ］を検索

２：表札を選択して「編集（eE-Former）」をクリックします。



３：eE-Formerが起動します。

４：左上「補助線」をクリックし、補助線を前から見た画面にドラックで配置します。

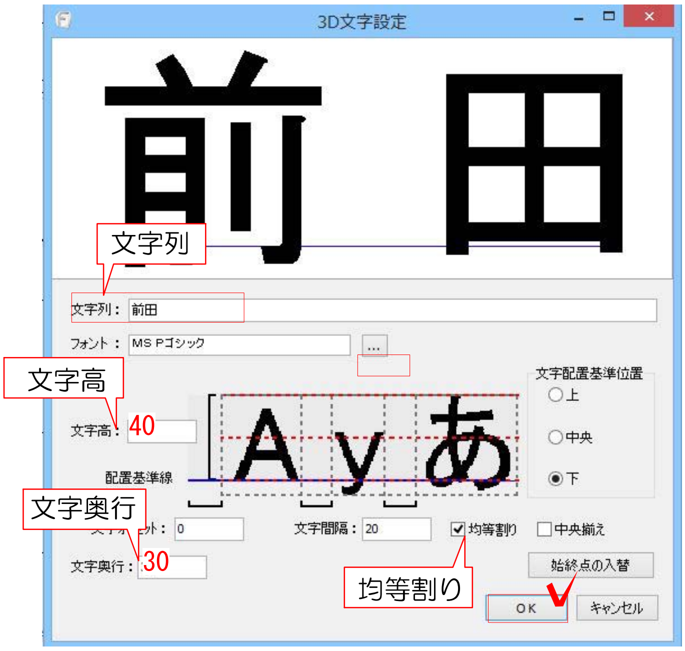


5：表札に合わせて補助線の位置・長さを
調整します。
補助線の端点にカーソルを近づけると
になります。クリックしてShift
キーを押しながら長さを調整し、クリッ
クで決定します。

※文字数やサイズによって
長さを調節して下さい。

6：補助線を選択した状態で、３Dメニュー
の「３D文字」をクリックします。

※他の図形も一緒に選択しているとメニュー
を選ぶことができません。
補助線が１つだけ選択されているか確認をし
ましょう。

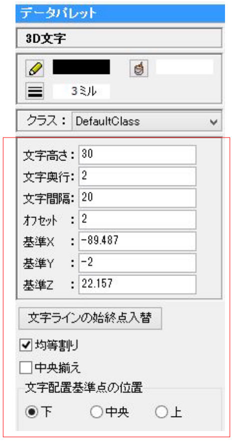


7：文字列に作りたい文字を入力します。
Enterキーをクリックします。

文字高・文字間隔・フォントなどを設定し
てOKをクリックします。

※こちらの画面では文字を作る範囲を変える
ことは出来ません。一度作成画面を閉じて補
助線の長さを調節してから作成しましょう。

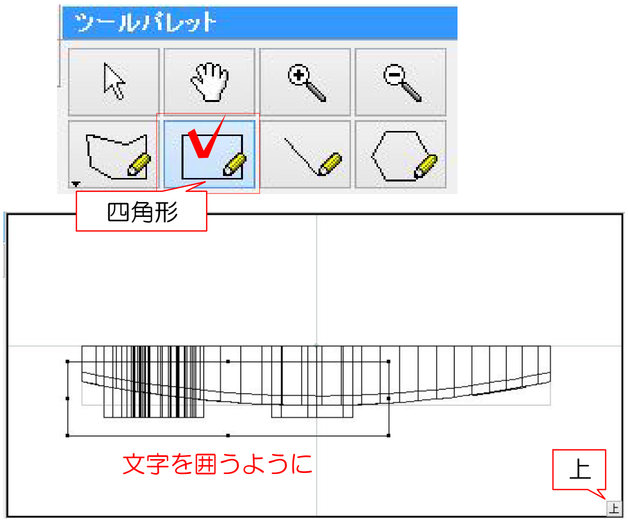
詳しくは
おすすめ&新機能→オーセブンCAD
11新機能→3D文字作成機能



8：３D文字が出来ました。
左上の３D編集をクリックします。

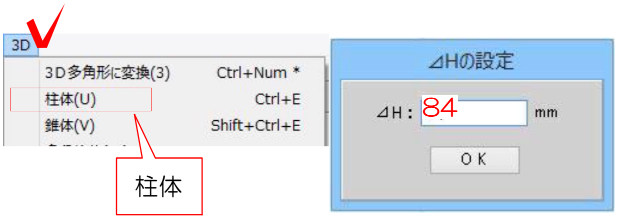
３D文字を編集したい場合は、
画面右のデータパレットで数値の変更することが出来ます。

または作成した３D文字をWクリックして編集することが出来ます。



9：上から見た画面で3D文字をカバーするように平面上に四角形を作ります。

※この作業は浮き彫り文字にするために必要な文字を削るための図形を作成します。

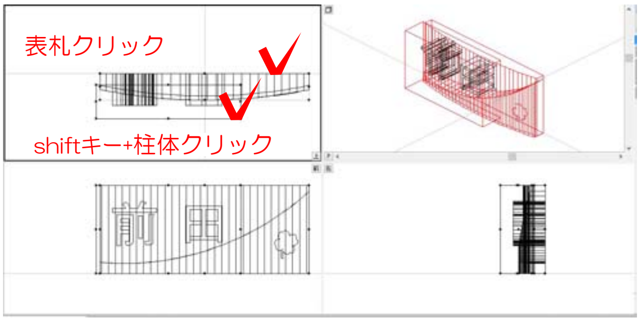


10：四角形を選択した状態で３Dメニューの柱体をクリックします。高さは表札の高さを入力します。（文字の高さより高ければOK）

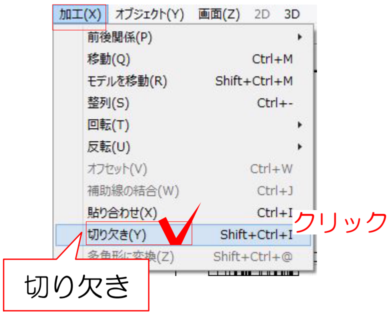
11：この柱体を表札の曲面にそって削る必があるので、前後関係で表札より最後となるようにします。

柱体を選択した状態で加工メニューの前後関係→最後へをクリックします。

12：表札と柱体を選択します。

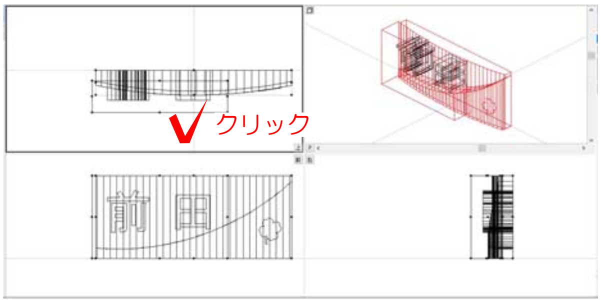


13：加工メニューの切り欠きをクリックします。



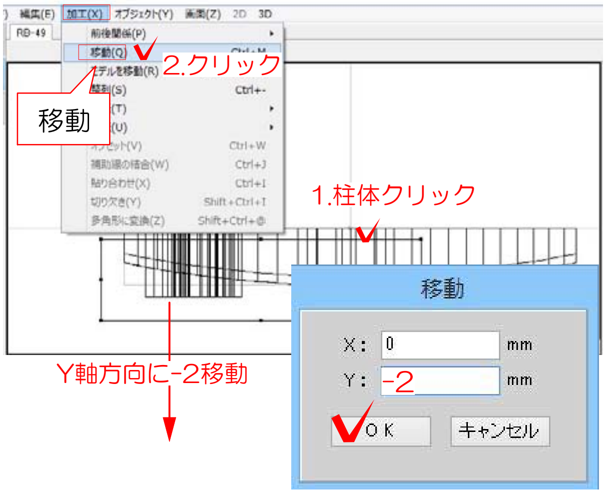
14：柱体が表札の曲面で切り欠かれました。

何もないところをクリックしてすべての選択を解除します。

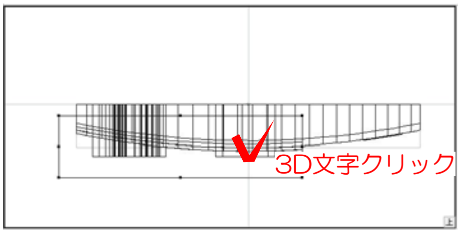


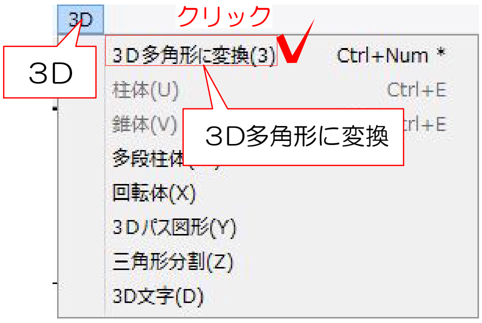
15：柱体を前方に移動します。
柱体を選択した状態で、加工メニューの移動をクリックします。

ここでは2ミリ移動しておきます。※浮き彫り文字厚み分



16：柱体が前方へ移動しました。
次に３D文字をクリックで選択します。



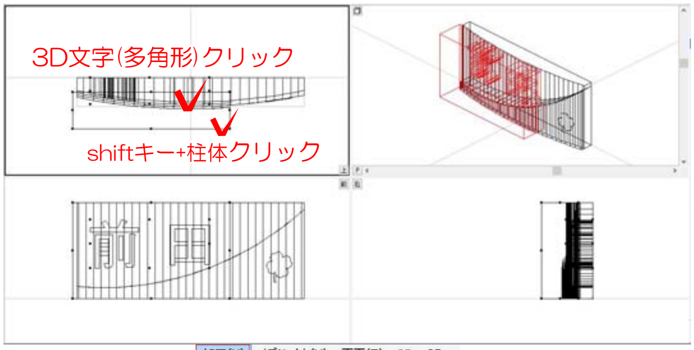


17：3D文字を選択した状態で、3Dメニュー「3D多角形に変換」をクリックします。

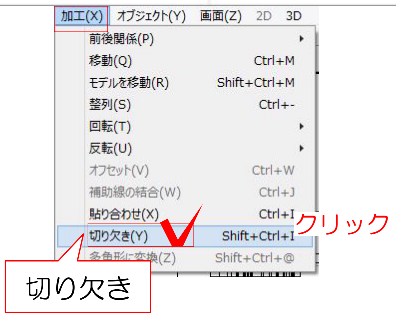
※3D多角形に変換した後は3D文字設定画面で編集が出来ません。

18：3D文字(多角形)は柱体で切り欠かれる為、前後関係で最後となるようにします。

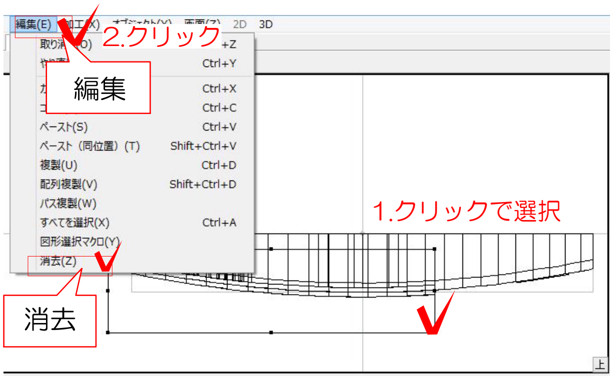
加工メニューの前後関係→「最後」へをクリックします。



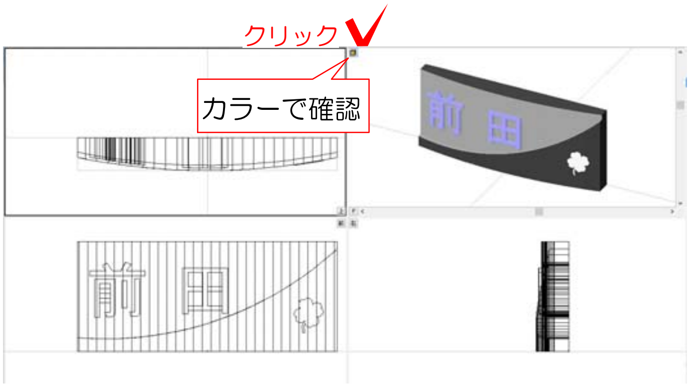
19：3D文字(多角形)と柱体を選択します。



20：加工メニューの「切り欠き」をクリックします。文字が曲面にそってきり欠かれます。

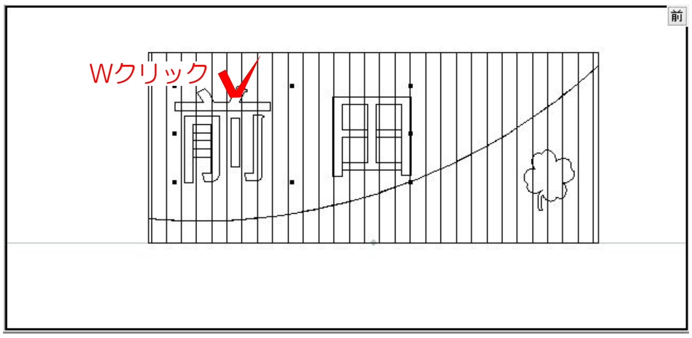


21：柱体をクリックで選択し、編集メニュー「消去」をクリックします。



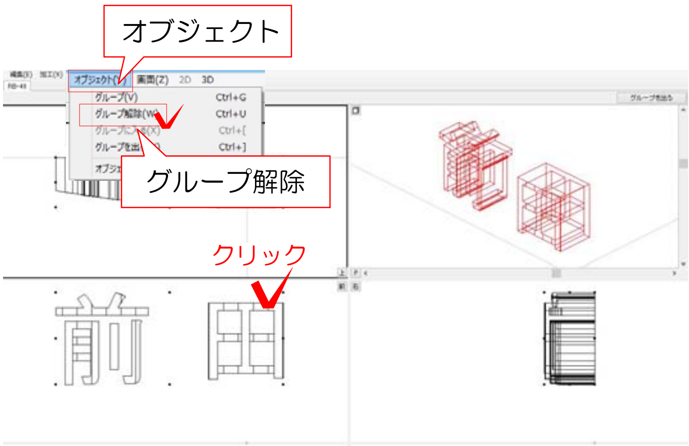
22：文字が曲面にそった形状で浮き出ている感じが分かります。

右上「P」の画面のボタン をクリックするとカラーで確認出来ます。

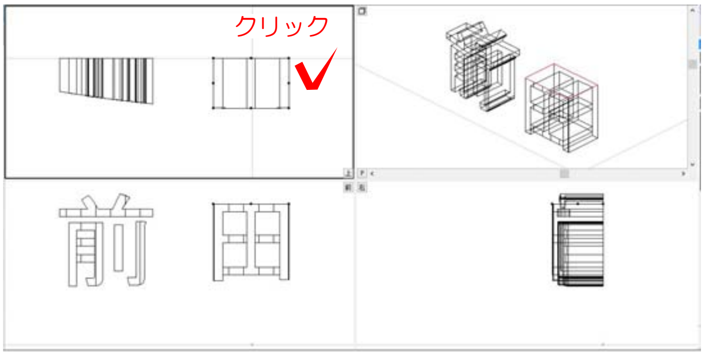


23：浮き彫りされた文字が一色なら、これで作業完了ですが、浮き彫りの場合、文字の側面と正面とで仕上がり(色)が違う場合はクラス分けする必要があります。

3D文字(多角形)をWクリックしてグループの中に入ります。

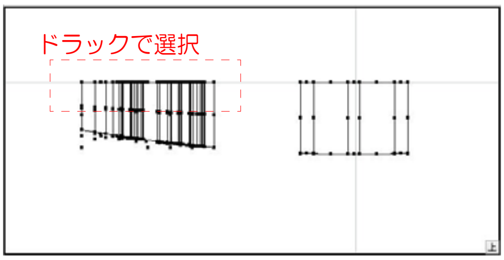


24：3D文字(多角形)をクリックして選択した状態で、オブジェクトメニューの「グループ解除」をクリックします。

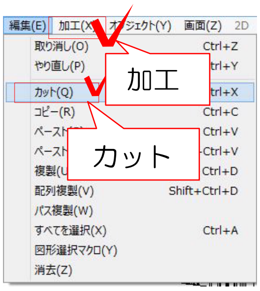


25：何もないところをクリックして選択解除します。
面ごとにバラバラに分解出来ているか、クリックして確認しましょう。

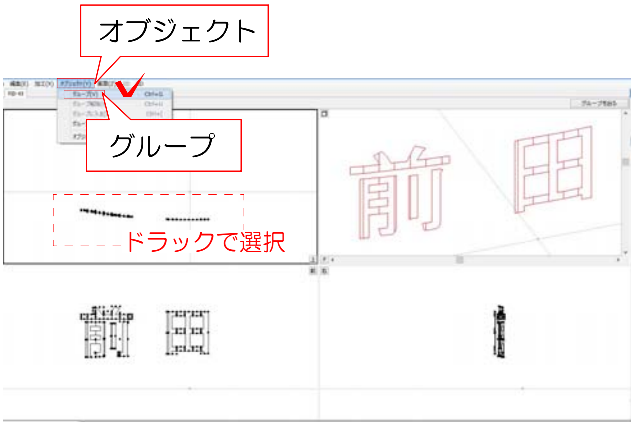
※1度グループ解除をして、面ごとに分解出来ていない場合は再度3D文字(多角形)を選択してグループ解除を行ってください。



26：正面の面以外をドラックで囲うように選択します。

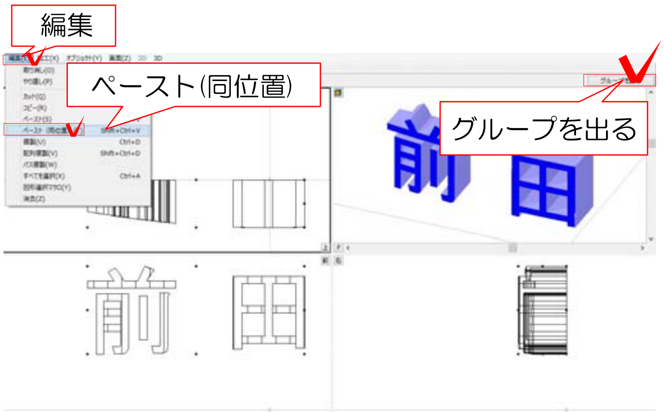


27：加工メニューのカットをクリックします。



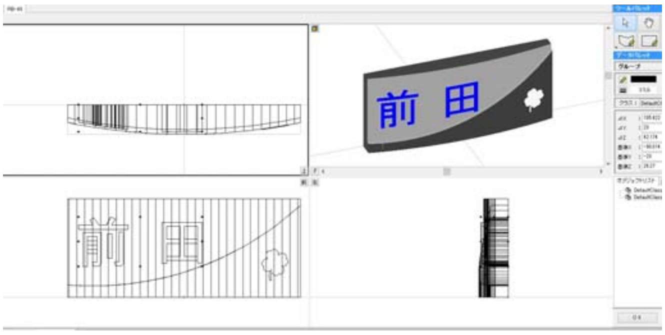
28：正面の面だけ残ります。
面をすべて選択してオブジェクトの「グループ」をクリックします。

29：属性→クラス→オーセブンから仕様を選び（「P」以外の画面に）ドラックして仕様を割り当てます。



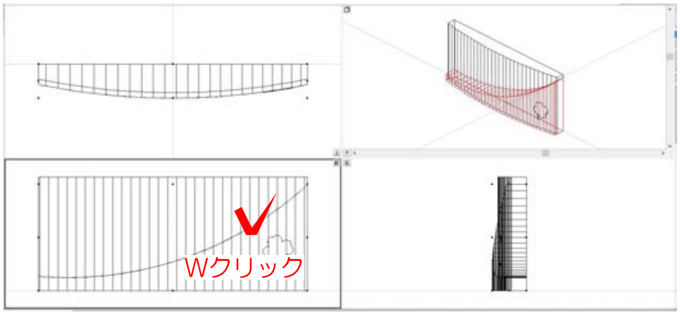
30：先ほどカットした面を戻します。
編集メニューの「同位置ペースト」をクリックします。

31：右上の「グループを出る」をクリックします。

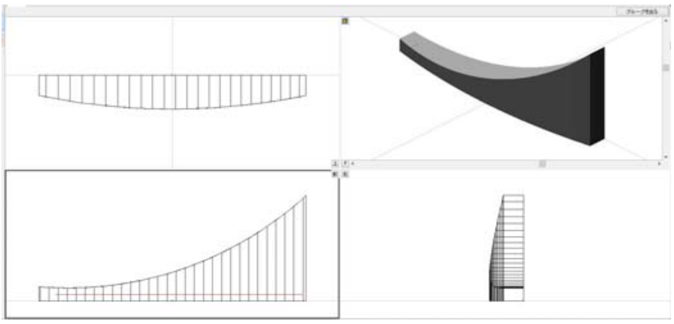


32：浮き彫り文字の表札が出来ました。

※彫り込み文字を入れたい場合

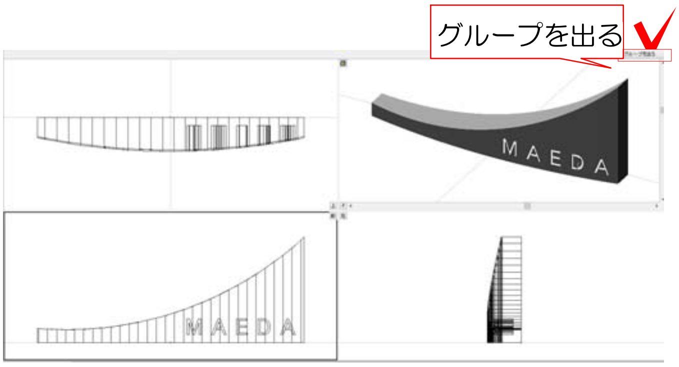


こちらの表札は右下に彫り込み文字が入ります。
表札の右下の図形Wクリックしていきます。

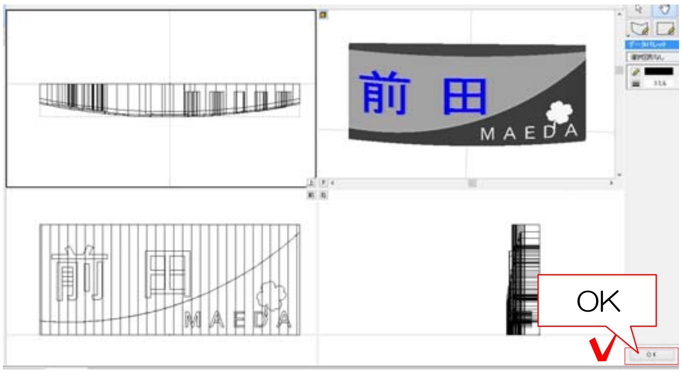


1：彫り込み文字を入れる表札の一部が表示されたら文字を入力します。

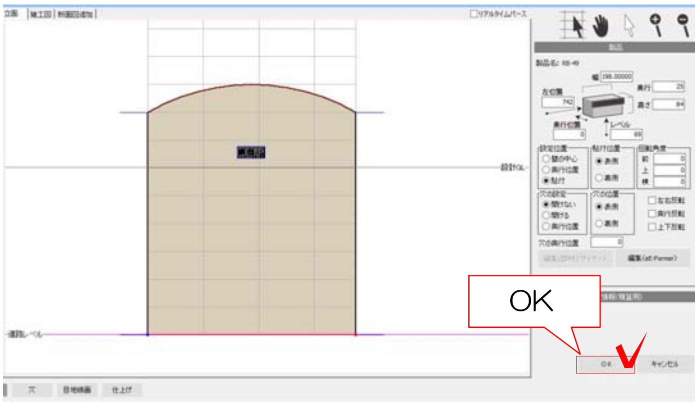
Webﾏﾆｭｱﾙ 表札に文字を入れる方法（曲面への彫り込み文字）参照



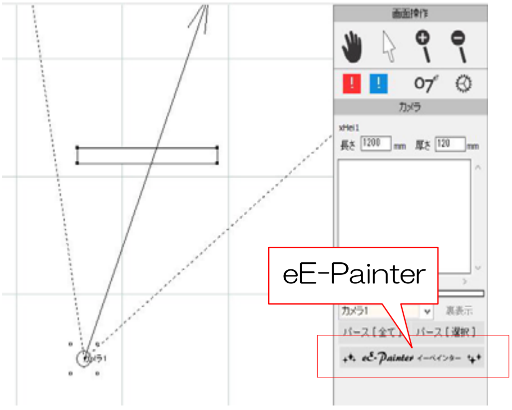
2：彫り込み文字が作成出来たら右上のグループを出るをクリックして戻りましょう。



33：「OK」をクリックしてeE-Formerを終了します。



34：塀に文字を作成した表札が配置されます。右下の「OK」をクリックして塀デザイナーを終了します。



35：カメラを設置してeE-Painterを起動します。

36：テクスチャを変更する場合はレンダリングをクリックしてテクスチャを選び、表札の本体と文字にそれぞれドラックします。